

# 地域住民一人ひとりが 笑顔で暮らせる活気ある地域へ

## 構想が目指すもの

北条地域は、中世伊予の豪族である河野氏の足跡を色濃く残す歴史や文化を有し、鹿島や高縄山など豊かな自然に恵まれた魅力あふれる地域です。また、本市が進める『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想においてもサブセンターゾーンのひとつに位置づけられています。

しかし、鹿島への渡船利用者が年々減少傾向にあるなど、資源の魅力を十分に引き出せておらず、松山地区への通勤・通学による昼間人口の減少などにより、かつてのにぎわいが失われています。

このような現状を踏まえ、北条地域が抱える課題解決に向けた取り組みを進めることで、住民一人ひとりが笑顔で暮らせる活気ある地域を目指します。

## 構想策定の趣旨

この構想は、地域全体の持続的な発展を目的に、地域住民、関係団体、行政が協働し、北条地域の振興を推進していくことを定めるものです。

## 対象期間

この構想の対象期間は、おおむね 10 年間を目的とします。

## 北条地域の構成

北条地域は、浅海・立岩・難波・正岡・北条・河野・粟井の 7 地区で構成されています。



# テーマ

## 『昭和の賑わいを求めて』

### テーマへの思い

昭和33年11月1日、北条市が誕生。それから合併までの約50年間、北条は昭和とともに発展を遂げてきました。家族や地域が深く結びつき、まちも人も暮らしも活気に満ちあふれる、昭和とはまさにそんな時代でした。

こうしたあの頃のにぎわい、活気を求めることは、地域全体の活性化につながっていくものと期待されます。昭和のにぎわいを求め、持続的な発展を目指した取り組みを様々な分野において推進していきます。

### 全体ビジョン

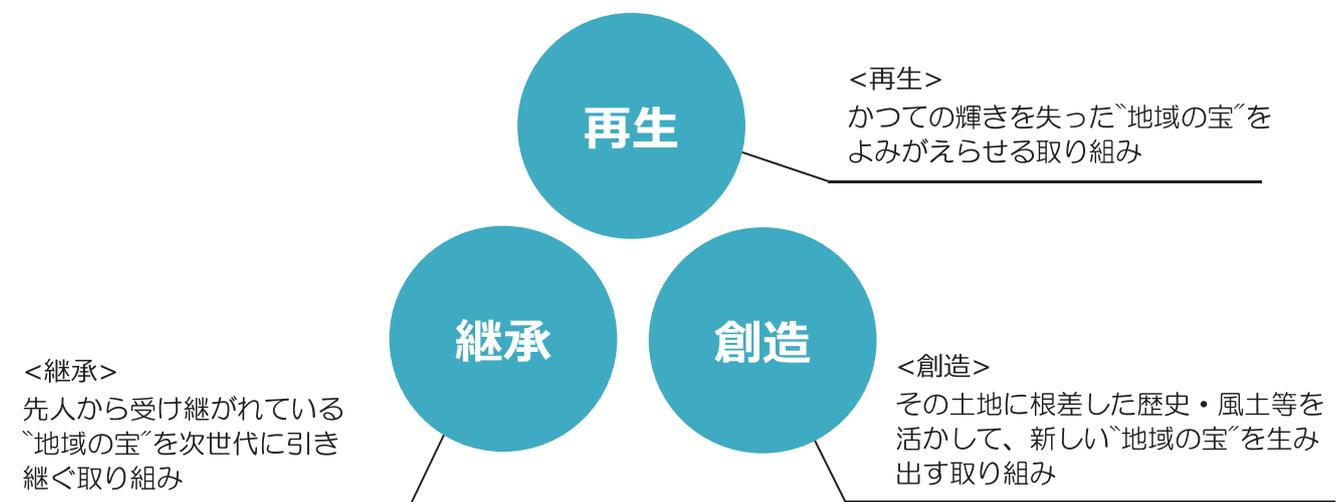
#### かざはや 風早レトロタウン構想

「レトロ」とは懐かしいと感じる、いわゆる「懐古」のことであり、  
時間を振り返ることで生まれる感情である。

風早レトロタウン構想とは、時間を「過去」「現在」「未来」に分け、

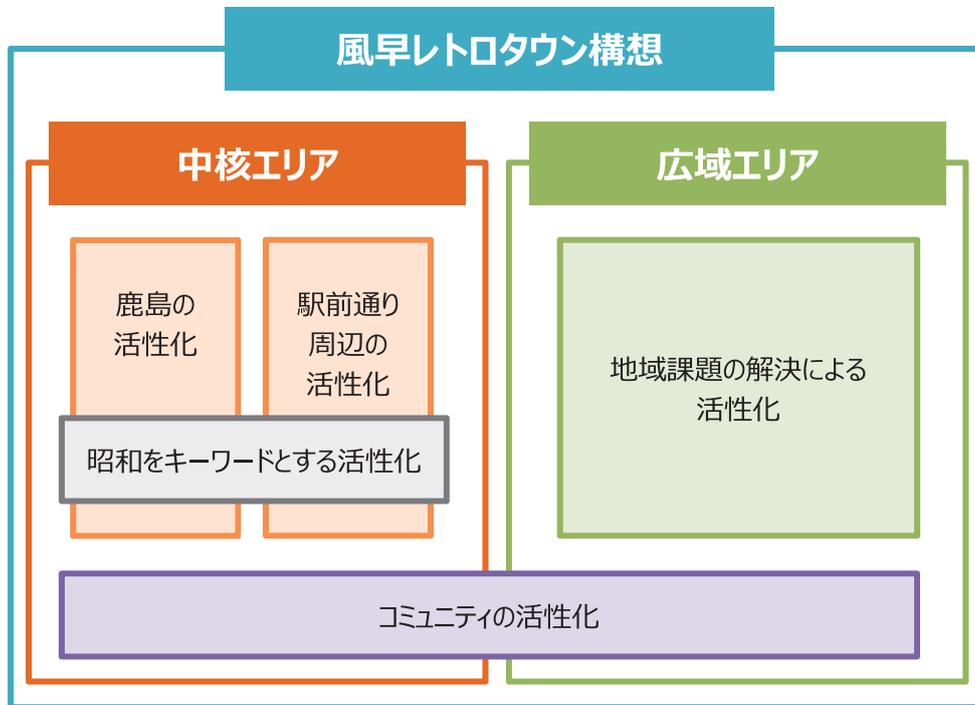
「過去」のものを「現在」へ（再生）  
「過去」のものを「現在」から「未来」へ（継承）  
新たなものを生み出し「未来」へ（創造）

この3つの視点で取り組み、「再生」「継承」「創造」することで、  
北条地域の活性化の実現を目指すものである。



## 構想の考え方と進め方

風早レトロタウン構想は、「昭和の賑わいを求めて」のテーマのもと、「再生」「継承」「創造」の3つの視点で北条地域の活性化を目指し、中核エリアの活性化を起点として、3つのSTEP（STEP1 鹿島の活性化、STEP2 駅前通りの活性化、STEP3 北条地域の活性化）で進めます。



## 5つのポイント

風早レトロタウン構想は、北条地域の活性化の実現を目指し、以下の5つのポイントに基づいて取り組みを進めることで「再生」「継承」「創造」へとつなげていきます。

### 資源活用

地域の資源を様々な視点で見つめ直し活用することで、既存の魅力を磨き上げるとともに、新たな魅力の創出を図ります。

### 環境整備

景観、環境を整備し価値を高めることで、地域住民の満足度を高め、誇りを育むとともに、訪れる人にとっても魅力ある空間づくりを図ります。

### 情報発信

地域の魅力を効果的かつ効率的に伝えることで、一人でも多くの人の興味・共感につなげ、参加・共有へと広げていきます。

### 交流促進

集客を図ることに加え、訪れる人との交流の場をつくることで、地域住民の機運やおもてなしの心の醸成を図ります。

### 協働推進

地域住民、関係団体、大学、民間事業者、行政などが協働することで、それぞれの強みや役割を活かし、取り組みが継続する環境を整えます。